

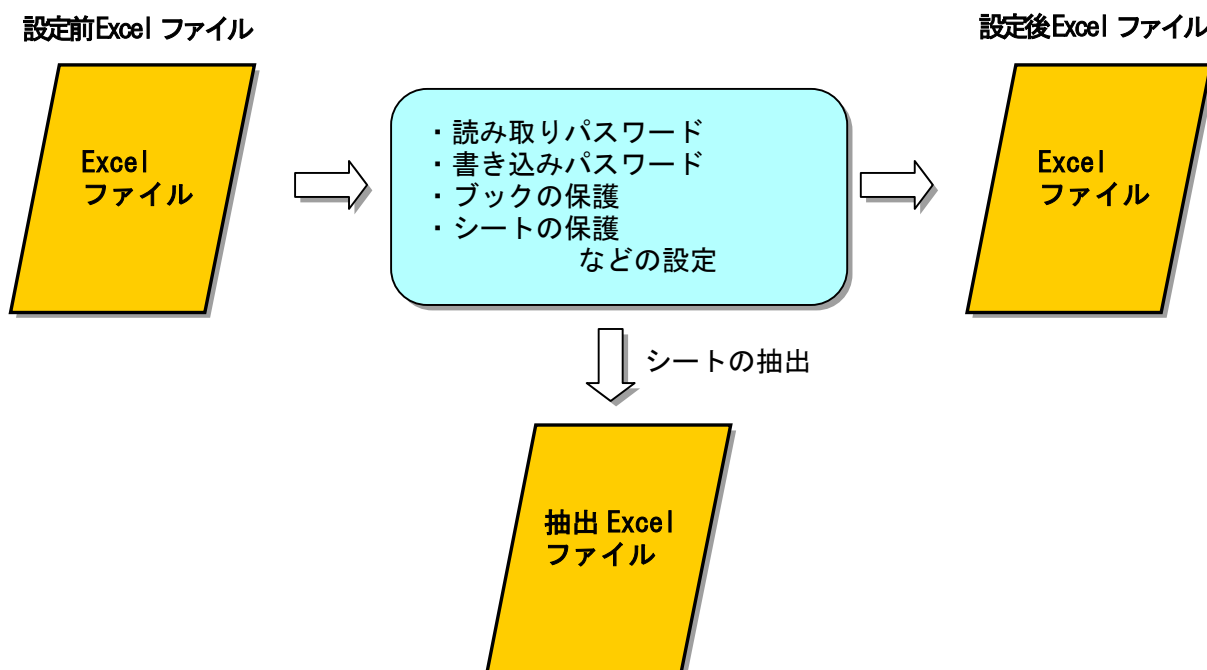
# Excelファイルへの セキュリティの設定 (KDexcel\_secu)



Kernel Computer System  
カーネルコンピュータシステム株式会社

本社：パッケージ販売部  
〒221-0056  
横浜市神奈川区金港町 6-3 横浜金港町ビル  
TEL：045-442-0500 FAX：045-442-0501  
URL：<http://www.kernelcomputer.co.jp>

Microsoft Excel の機能を使用して、Excel ファイルにセキュリティを設定します。  
また、指定シートの抽出も行います。



## 特長

- ・ コマンドラインから実行
- ・ バッチファイルの使用が可能、一度に複数のファイルのセキュリティ設定が可能
- ・ 指定したシートの「シートの保護」設定が可能
- ・ 指定したシートの抽出が可能
- ・ MS-EXCEL の対応バージョンは、Excel 97 / 2000 / 2002 / 2003

## 操作説明

Kdexcel\_secu は、コマンドラインアプリケーションです。通常のコマンドと同じように、コマンドラインから実行したり、バッチファイルやシェルスクリプトに組み込むことができます。

Windows の場合は、「コマンドプロンプト」で DOS ウィンドウを開いて、その中で実行します。

### 属性ファイル

変換を始める前に、変換に必要な情報を属性ファイル上で設定します。  
以下の属性ファイルでバーコード認識をする際に必要な情報を設定します。  
通常、基本的な初期値があらかじめ設定されています。

xls\_secu.atr ----- 属性ファイル

### 実行例

バーコード読み込みを実行するには、次のような形式でコマンドラインに入力します。

実行モジュール名	入力ファイル	必須コマンド	オプションコマンド
----------	--------	--------	-----------

例 1: Excel ファイル[sample.xls]に、読み取りパスワードを設定します。  
事前に、読み取りパスワードを、[passfile.txt]に記述しておきます。

```
> KDexcel_secu sample.xls -LOCK1 -PSWDpassfile.txt
```

KDexcel_secu	: 実行モジュール名
sample.xls	: 入力 Excel ファイル名
passfile.xls	: パスワードファイル名 (読み取りパスワードを記述したテキスト形式のファイル)
-LOCK1	: 読み取りパスワードの設定を行います。
-PSWD	: パスワードファイル名を指定するオプションです。

```
R_PASSWORD = XXX
```

(passfile.txt)

※オプション指定は大文字でも小文字でもかまいませんが、全角文字は使えません。  
※オプションの詳細についてはオプションの項目を参照ください。

例 2： Excel ファイル[sample.xls]に、読み取りパスワードと書き込みパスワードを、設定します。  
事前に、読み取りパスワード、書き込みパスワードを、[passfile.txt]に記述しておきます。

```
> KDexcel_secu sample.xls -LOCK3 -PSWDpassfile.txt
```

KDexcel\_secu : 実行モジュール名  
sample.xls : 入力 Excel ファイル名  
passfile.txt : パスワードファイル名  
-LOCK3 : 読み取りパスワード、書き込みパスワードの設定を行います。  
-PSWD : パスワードファイル名を指定するオプションです。

```
R_PASSWORD = XXX  
W_PASSWORD = YYY
```

(passfile.txt)

例 3： Excel ファイル[sample.xls]に、「ブックの保護」(シート構成、ウィンドウ)を設定します。  
その際のパスワードについては設定しません。

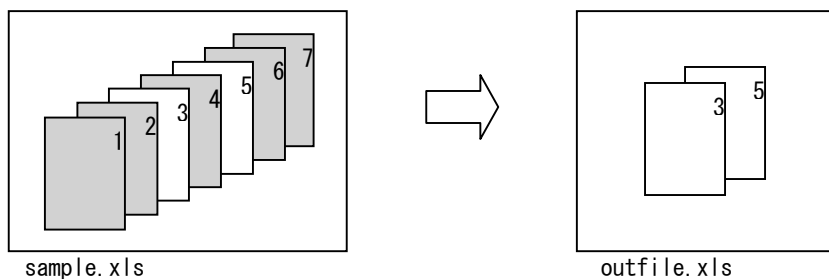
```
> KDexcel_secu sample.xls -PBK3
```

KDexcel\_secu : 実行モジュール名  
sample.xls : 入力 Excel ファイル名  
-PBK3 : 「ブックの保護」(シート構成、ウィンドウ)の設定を行います。

例 4： Excel ファイル[sample.xls]の、3 枚目、5 枚目のシートを抽出し、[outfile.xls]を作成します。

```
> KDexcel_secu sample.xls -Ooutfile.xls -OSN3,5
```

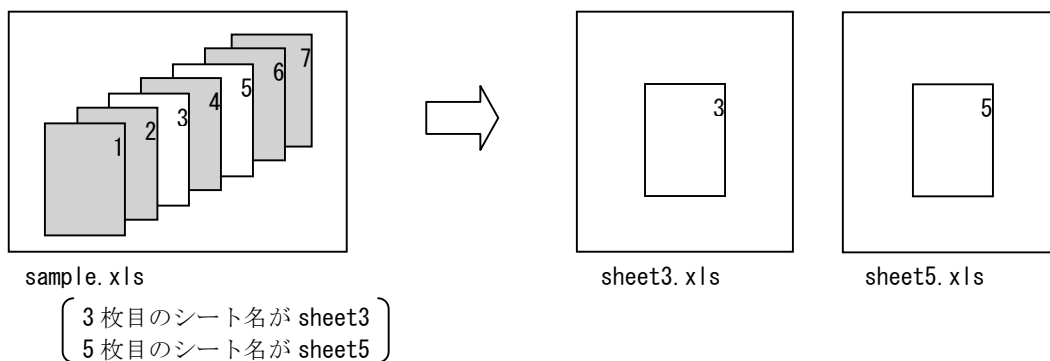
KDexcel\_secu : 実行モジュール名  
sample.xls : 入力 Excel ファイル名  
outfile.xls : 抽出 Excel ファイル名  
-O : 出力ファイル名を指定するオプション。  
-OSN3,5 : 3 枚目、5 枚目のシートを抽出シートとして指定します。



例 5 : Excel ファイル[sample.xls]の、3 枚目、5 枚目のシートを抽出し、フォルダ[outfolder] にそれぞれのシート名でExcel ファイルを作成します。

```
> KDexcel_secu sample.xls -Outfolder -OSN3,5
```

- KDexcel\_secu : 実行モジュール名
- sample.xls : 入力 Excel ファイル名
- outfolder : 抽出 Excel ファイル名
- 0 : 出力ファイル名を指定するオプション。
- OSN3,5 : 3 枚目、5 枚目のシートを抽出シートとして指定します。



例 6 : Excel ファイル[sample.xls]の、ファイル情報を取得しテキストファイルを作成します。  
出力場所は、Excel ファイルと同じフォルダ、ファイル名は[sample\_info.txt]となります。

```
> KDexcel_secu sample.xls -QS
```

- KDexcel\_secu : 実行モジュール名
- sample.xls : 入力 Excel ファイル名
- QS : 情報ファイルを作成するオプション

(例) 情報ファイルのサンプル

```
ファイル名 = sample.xls
シート数   = 2
種類       = Microsoft Excel ブック
タイトル   = Kernel Computer System
サブタイトル = no subject
作成者     = KGS

・読み取りパスワード           : [なし]
・書き込みパスワード           : [なし]
・読み取り専用を推奨する       : [なし]
・バックアップファイルを作成する : [なし]

・ブックの保護 [あり]
  シート構成 : [ON]
  ウィンドウ : [OFF]
  パスワード : [あり]

・シートの保護 (データ, オブジェクト, シナリオ, パスワード)
  1 (sheet1) : [あり] ([ON], [OFF], [OFF], [なし])
  2 (sheet2) : [なし] ([---], [---], [---], [----])
```

## バッチ変換

バッチオプションを使用して、指定したファイル又はディレクトリ内のファイルの一括処理が可能です。バッチファイルを作成後、次のような形式でコマンドラインに入力します。

**実行モジュール名 -BATCH バッチファイル名**

### 【バッチファイルのサンプル】

エディターを開き以下の要領でバッチファイルを作成します。作成後、任意のファイル名でカレントディレクトリに保存してください。

2つのファイルに「ブックの保護」を設定

```
sample1.xls -PBK3  
sample2.xls -PBK3
```

変換内容に合わせてバッチファイルを作成後 [batch.txt] という名前で保存します。

> **KDexcel\_secu -BATCHbatch.txt**

**KDexcel\_secu** : 実行モジュール名  
**batch.txt** : バッチファイル名  
**-BATCH** : バッチ処理を行うオプション

## 実行時のオプション

KDexcel\_secuには、変換時に指定できる様々なオプションが用意されています。

- ・オプションは、「-」で始まります。
- ・オプションには、大文字/小文字の区別はありません。
- ・パラメータがある場合は、空白を開けずにオプションの直後に指定します。  
(例) オプションが「-0」、パラメータが「file」の場合：  
    (正) -0file  
    (誤) -0 file
- ・複数のオプションを同時に指定する時は、それらを空白で区切ります。
- ・オプションを指定する順番は、処理の内容には影響しません。

### 必須指定コマンド

いずれか1つ以上の指定が必要です。

- LOCK[num]** : セキュリティの設定を行います。また、その他の保存オプションの設定も可能です。  
※ セキュリティ設定の際は、-PSWD オプションの指定も必要です。  
    1:「読み取りパスワード」  
    2:「書き込みパスワード」  
    4:「読み取り専用を推奨する」  
    8:「バックアップファイルを作成する」  
    0:すべての項目の解除
- PBK[num]** : ブックの保護を設定します。  
    1:「シート構成」の設定  
    2:「ウィンドウ」の設定  
    0:「ブックの保護」の解除
- PST[num]** : シートの保護を設定します。  
    1:「データ」の設定  
    2:「オブジェクト」の設定  
    4:「シナリオ」の設定  
    0:「シートの保護」の解除
- 0[file/folder]** : シートの抽出を行い、指定した名前 Excel ファイルを作成します。  
また、フォルダ名を指定した場合は、指定したフォルダに抽出シートの枚数分 Excel ファイルを作成します。そのときのファイル名は、シート名.xls となります。
- QS[infofile]** : 指定 Excel ファイルの文書情報を取り出して、テキストデータとして infofile に出力します。

## その他のオプションコマンド

**-PSWD[file]** : パスワードファイル名を指定します。  
パスワードを設定解除する場合、あらかじめパスワードが設定されているファイルを使用する場合、に使用します。  
記述可能なパスワードは、「読み取りパスワード」「書き込みパスワード」「ブックの保護」「シートの保護」です。

ファイルはテキスト形式で作成します。  
それぞれのパスワードの指定方法は以下の通りとなります。  
(「XXXX」の部分にパスワードを記述します。)

R\_PASSWORD = XXXX : 読み取りパスワード  
W\_PASSWORD = XXXX : 書き込みパスワード  
BP\_PASSWORD = XXXX : ブックの保護のパスワード  
SHEET[N] = XXXX : シートの保護のパスワード ([N]にはシートの番号を指定します。)

**-SN[sheet]** : シートの保護(-PST オプション)を設定する際、Excel ファイルに複数のシートが存在する場合、処理するシートを指定します。  
次のような形式で任意のシートを指定することが出来ます。

-SN0 : 全シートを処理(初期値)  
-SN3 : 3 枚目シートのみ処理  
-SN3-5 : 3 枚目から 5 枚目シートまで処理  
-SN-5 : 1 枚目から 5 枚目シートまで処理  
-SN5- : 5 枚目から最終シートまで処理  
-SN3, 5 : 3 枚目シートと 5 枚目シートの処理

**-OSN[sheet]** : シートの抽出(-O オプション)を設定する際、Excel ファイルに複数のシートが存在する場合、抽出したいシートを指定します。  
また、このオプションを指定しなかった場合は、「シートの保護」が設定されているシートを抽出します。  
次のような形式で任意のシートを指定することが出来ます。

-OSN0 : 全シートを抽出  
-OSN3 : 3 枚目シートのみ抽出  
-OSN3-5 : 3 枚目から 5 枚目シートまで抽出  
-OSN-5 : 1 枚目から 5 枚目シートまで抽出  
-OSN5- : 5 枚目から最終シートまで抽出  
-OSN3, 5 : 3 枚目シートと 5 枚目シートの抽出  
指定なし : 「シートの保護」が設定されているシートの抽出

## バッチ処理に関するもの

**-BATCH[batch\_file]** : バッチファイル名  
指定されたファイル又はディレクトリ内のファイルを一括処理したい時に利用します。

## 制限事項

### ◆ 動作条件について

Windows の OS を長時間(数ヶ月単位)再起動せずに使用すると環境により Windows の動作が不安定になる場合があります。これは、弊社アプリケーションのみの問題ではなく、Windows を含む、利用される全てのソフト・ドライバの複合要因であり発生した場合、原因の特定及び回避は全てのアプリケーションが関係している関係で、現状では不可能です。長期間連続運用を行う場合、上記の問題が発生する事がありますので、定期的な Windows 再起動を奨励いたします。

### ◆ -XML で作成したファイルの対応ビューワーについて

-XMLRIREKI, -XMLLOG で出力された XML ファイルの閲覧に関して  
“Microsoft Internet Explorer 6.0”(IE6.0)のご使用を推奨します。

ブラウザ	表示	備考
Internet Explorer 6.0	○	
Internet Explorer 5.xx	△	MSXML 3.0 のインストールで可 (マイクロソフトのサイトで公開)
Netscape Navigator 4.xx	×	
Netscape Navigator 6.0	○	

### ◆ 多重起動について

KDexcel\_secu の製品を同一 CPU 上で多重起動する事はできません。  
多重起動が原因で発生した問題等についてサポートはできません。  
また、別の弊社の製品と組合せて使用する場合も同様となります。

## 動作環境

◆対応 OS

Windows 2000/XP/Server 2003

※ 使用する PC に MS-OFFICE がインストールされている必要があります。

◆対応する MS-EXCEL

Microsoft Excel 97/2000/2002/2003

## 標準価格

KDexcel\_secu : 10 万円 (税抜き) / 本